

東地区敬老会盛大に開催

平成七年度の敬老会は、九月十四日秋田温泉プラザホテルを会場に、盛大に開催されました。出席者は一三六名でしたが、今年



祝宴は、畠山町内会連合会長の長寿を祝う賛辞と共に力強い乾杯の音頭で始まり、アトラクションは、プロ顔負けのマジックショーと、「あづま会」有志による、唄や踊りで大いに盛り上がり、和気あいあい交流を深め、心ゆくまで楽しんで頂きました。最後に佐藤コミセン運営委員長の発声で、来年もまた元気で再会しましょうとの万歳三唱で散会、全員無事帰途につきました。

（御代 鐵三郎記）

ひいおばあちゃんが教えてくれたこと

東小学校六年 渡辺 麻衣子

私が三年生の頃、ひいおばあちゃんの家によく遊びに行きました。私が行くとおばあちゃんは笑顔で出むかえてくれ、おかしを準備してくれていました。また、いっしょに遊んでくれたり、お話をしてくれました。私はそんなおばあちゃんが大好きで、会えるのを楽しみにしていました。

とても信じられませんでした。そしてその時私はとても後悔しました。それは、おばあちゃんが私のためにいろいろしてくれたのに、私はおばあちゃんのために、何ひとつやってあげられなかったからです。肩をたたいたり、何か役に立つような事をすればよかったと思いました。私はもう二度と同じ思いをしたくありません。そのために募金活動で人の役に立ったり、お年寄りに自分から話しかけたりして、喜んでもらうような活動を実際に経験してみたいと思います。

東地区老人クラブ紹介

この地区には左記の八クラブが結成され、それぞれ独自にゲートボール大会、グランドゴルフ大会、体協主催のスポーツ大会等に参加したり、研修講話を開催したり、各種団体の

- 事業に参加して、生涯学習としての生き甲斐を充実させていこうと計画されております。
クラブ未結成の町内会の発足が期待されますし、また単一組織を糾合した連絡協議会の結成も待たれます。
東通大樹会 会長 越中谷利市
手形緑町豊寿会 会長 佐藤 敏夫
鳴登町鳴寿会 会長 設楽 茂
城東老人クラブ 会長 相馬吉五郎
三吉南町高砂会 会長 笹川 幸藏
会員 七六名 三四一六八七四
駅東団地むつみ会 会長 青木 信義
会員 四七名 三四一四二〇八
東町第五友親会 会長 今野鐵二郎
会員 六九名 三三一五三二一
広面老人クラブ 会長 川辺金一郎
会員 四三名 三四一〇三〇九
（但し広面三町内会である）

ご香典返し ありがとうございます

平成7年度のご香典返しについては直接感謝状を贈り感謝の意をお伝えしておりますが、この「社福協だより」にも掲載し重ねて厚くお礼を申し上げます。（敬称略）

- 高谷 静枝（故繁樹）30,000 手形字中谷地73
小原 照子（故栄司）50,000 手形字十七流135-1
今野恭二（故カツエ）15,000 広面字二ツ屋63-5
善意の寄付または香典返しのご連絡は当該各町内会長にご連絡をお願い致します。

創刊にあたって



東地区 社会福祉協議会 会長 御代 鐵三郎

平成七年度の通常総会におきまして、皆様からのご推挙を頂き、東地区社福協会長の重責を担うことになりました。これまでと同様地区の皆様と共に手を取り合せて、地域福祉の向上に誠心努力してまいりますので、歴代会長同様、今後共よろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

秋田市内には小学校の学区を中心とした、三六地区に地区社会福祉協議会があります。当東地区社福協は、分離独立以来いまだ八年目でございますが、先人の汗と努力によって築かれた良き伝統のもとに、二一町内会、約二三〇〇世帯に及ぶ皆様や、地区民生・児童委員協議会、町内会連合会を始め、地区関係五団体の方々のご協力と、ご支援を頂きながら、別紙概要の如き事業を展開しているところであります。

戦後、家族形態が核家族化し、女性の社会進出に伴い役割に変化が生じ、家庭の介護能力が低下していく半面、高令化現象が急速に進行しております。当地区も例外なく二一世紀早々には四人に一人

が六五歳以上になることは確実です。から地域の方々が親しく交わり、お互いに助けあい、支えあい、励ましあいながら、自分たちの住んでいるまちをより豊かにし住み慣れたまちで安心して暮らせるまちづくりが、地域福祉の原点だと思います。

刻々と迫りくる超高令化社会に対応できる地域福祉のサービス体制づくりには、皆様のより一層のご理解と、更なるご協力を重ねてお願い申し上げます。

このたび、「社福協だより」の創刊にあたり、地域の方々の中には社福協をはじめ、関係諸団体の沿革や組織、活動内容等について、充分ご理解を得ていただいている面もありましたので、この機会に各会長さんのご協力をいただき、そのあらましをご紹介しますいただきました。

愛と心の情報



東地区 町内会連合会 会長 畠山 圓吉

このたび、「社福協だより」が情報の受・発信として、ここに発刊されますことに対し、敬意を表しますと同時に誠に喜ばしい限りであります。このうえば情報紙が普く、情報交換や

相互理解増進のため、有効に機能され地区市民・住民の福祉向上は勿論のこと、今日的命題とも言える愛と心にみちた、高令者対策にも、積極策を大胆に講ぜられますようご期待を申し上げます。さて、現代は高度に拓かれた情報化時代であり、このような近代社会において常に最新の情報を、正しく、早く収集し、分析し、利活用をし、更には相互に伝達提供（情報の共有化）を持統的に実践・実行できると言うことは、正しく現代を「レベル」で生きている現代人と言えるでありましょう。又情報の原点・理念・哲理は、愛と心が通じ合う情報でありたいし、そのことが客体との生きた懸け橋となり、真実「愛と心の情報」として必ずや多くの識者から共感を呼ぶものと確信いたします。更には、マクロ的に宇宙や、世界や、巨大社会とどう関わりを保有しながら情報の理念を革新していくのか。…（情報の新理念構築）ミクロ的には、家庭や、教育や、職域や、各々の集団社会に、より濃度の高い情報を共有させるシステムの確立は…。（イメージの改革）いずれにしろ日進月歩で、しかも価値観の多様化、複雑化の現代にあつて、至難事ではあります。普遍的に最新の情報を「愛と心」で共有したいものと思えます。

Header area containing the title '東社福協だより', issue information (No. 1, October 1, 1995), and various official seals and stamps.

東地区社会福祉協議会が発足して八年目、待望された「社福協だより」が発刊出来た事を心からお祝い申し上げます、今後益々の発展を祈念しお喜び申し上げます。

社会福祉協議会と民生児童委員協議会との関係は、今更申し上げるまでもありませんが、互に協力し重責をもって社会福祉活動に励んでいかなくてはならないと考えております。

東地区の民生児童委員は、現在一五名(内一名は地区全体の児童福祉を専任する児童委員)で、各担当区域を受持ち、東地区民生児童委員協議会のもと、力を合わせて福祉活動に取り組んでおります。民生委員は民生委員法に定められていることを基本に、社会奉仕の精神をもって保護指導、社会福祉の増進に努めております。東地区の世帯数は三八九〇余世帯、当地区も他と同様高令化の問題や小児化の問題等、これらに対する行政の対策(けやきのまちのしあわせプラン)も着々と進められてはおりますが、何んといっても地域に住む皆様の理解と、協力がなければ



東地区民生委員  
児童委員協議会  
総務 櫻井 藤市

### 創刊号に寄せて

ば住みよいまちづくりは出来ません。民生児童委員は老人問題、児童に関する種々の問題、困りごとの相談、低所得者世帯の保護、福祉施設等の活用のお世話や助言、行政との橋渡し、また生活福祉資金の借り受けなど皆様のお手伝いを行なっております。これらの事で個人の秘密は厳守し、ご迷惑をおかけすることはありませんので、どうか担当民生委員に安心して相談下さるようお願い致します。

社福協と民児協は、地域福祉の推進役として協力し合い、明るい地域づくりに努めることを誓って、一言お祝いのごとばと致します。

東地区社会福祉協議会が発足して八年目、待望された「社福協だより」が発刊出来た事を心からお祝い申し上げます、今後益々の発展を祈念しお喜び申し上げます。

社会福祉協議会と民生児童委員協議会との関係は、今更申し上げるまでもありませんが、互に協力し重責をもって社会福祉活動に励んでいかなくてはならないと考えております。

東地区の民生児童委員は、現在一五名(内一名は地区全体の児童福祉を専任する児童委員)で、各担当区域を受持ち、東地区民生児童委員協議会のもと、力を合わせて福祉活動に取り組んでおります。民生委員は民生委員法に定められていることを基本に、社会奉仕の精神をもって保護指導、社会福祉の増進に努めております。東地区の世帯数は三八九〇余世帯、当地区も他と同様高令化の問題や小児化の問題等、これらに対する行政の対策(けやきのまちのしあわせプラン)も着々と進められてはおりますが、何んといっても地域に住む皆様の理解と、協力がなければ

### 東地区社会福祉協議会の概要

#### ◆創立と組織・事業◆

昭和四十年以降東地区は、住宅地として急速に発展していく過程で、明德、中通、広面の各地区社福協に所属してきたが、五十二年四月に東小学校が創立され学区も明確化された。その後も飛躍的に世帯数が増加したため、六十二年四月に分離独立しようとする気運が盛り上がり、東地区として社福協の設立準備委員会がもたれ、六十三年三月に設立総

### 市政協力員東地区会

会長 佐藤 敏夫

東地区社会福祉協議会が発足して八年目を迎え、この度「社福協だより」の創刊号発行を心からお慶び申し上げます。

当地域は長い間隣接各学区の傘下でありましたが、その後東小学校も創立され、東地区に社福協の設立をとの強い盛り上がりがあり、故勝浦市議他各町内会長さん達のご努力により、昭和六十三年に発足した東地区社福協も、高令化社会を迎え時代の要請に応え、数々の事業に取り組んできた実績は、高く評価できると思います。

さて、市政協力員東地区会は、昭和五十三年四月に発足し、協力員三十四名をもって組織しております。

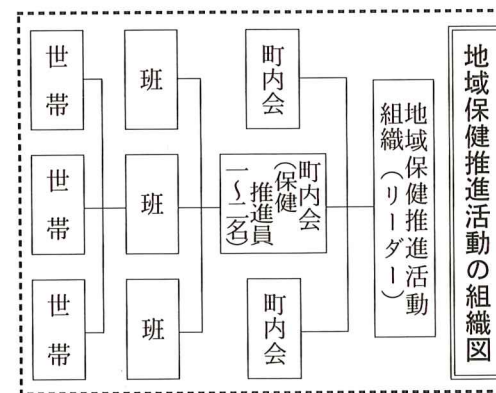
当初は、桜地区会員十三名をも包含しておりましたが、昭和五十九年四月に桜小学校の開校に伴い、学区単位の考え方から平成三年三月、臨時総会により桜地区会員の脱会を承認し現在に至っております。

秋田市には三十六地区会があり、総員一七七名で全国的にも珍しい月三回発行の「広報」を、各世帯漏らさぬようにお届けしております。

この地区会は、市に対する地区内事情の進言、会員相互の連絡協調、

### 地域保健推進活動 制度の創設について

- 会 長 佐藤 敏夫
- 副会長 戸澤 孝正
- 理事 金澤 勇治
- 理事 御代鐵三郎
- 理事 大友 太助
- 理事 近藤 清秀
- 理事 大森ヨシエ
- 理事 森谷 こう



秋田市では平成六年度に、保健福祉長期計画「けやきのまちのしあわせプラン」を策定しましたが、その中で、「地域保健推進員」制度を創設することになりました。従来地域の保健活動は市の保健婦が中心になり、町内会や婦人会の協力を得て推進してきましたが、これからは、既

存の地域活動を活かしなが、地域独自の健康問題に主体的に取り組み、保健活動の母体となる地域の組織を、町内会の協力を得て、全市を一元的に推進する体制をつくるものですが、それには、各町内会に活動する「保健推進員」一〇二名を選任し、地域の健康問題を把握し、それに合った活動を実施したり、また、各種健康診査の周知徹底や、健康意識の高揚など、地域住民と行政とのよきパイプ役となり、情報提供や広報など各町内会単位の保健推進活動を行うものです。

昨年十二月と、今年七月に市からの説明会があり、平成八年度から、当地区も発足に漕ぎつきたいと思っておりますので、会員の皆様のご理解と、ご協力をお願いしたいと思います。

### 地域福祉協力員 制度の創設について

昨年十二月に東地区として、市及び市社福協から「秋田市保健福祉長期計画」の説明をうけ、更に、また今年度は、七月に長期計画の中でも特に「福祉協力員」制度について、具体的な説明と共に質疑応答を交わしたが(議事録送付済)この制度は、平成八年度から完全実施を図ることになりますので、今年中に各町内会とも充分話し合い、一〇二名の「福祉協力員」を選任して頂きたいと思っております。

次に、「福祉協力員」の役割りを申し上げますと、過去に比べると現在は、家族の形態や役割りの変化、高令者の急激な増加に伴い、情報或いはサービスの活用が充分出来ない状態が指摘されております。町内ごとに世帯数に応じ一〇二名で、町内会長、民児協委員、他団体役員の方々と協力し、「お互いの助け合い活動」として、「しあわせの手引き」等を活用しながら、町内の方々へ福祉の情報をお知らせしたり、町内の福祉ネットワーク等、地区で必要と思われる地域福祉活動を、地区社会福祉協議会を中心として、地域性を活かしながら進めていくものですが、地域の皆様のご協力を頂きながら、この「福祉協力員」制度を実のあるものにしていききたいと思います。

### ◆平成 7 年度予算の状況◆

#### 平成 7 年度東地区社会福祉協議会予算書

収入金額	2,370,000円
支出金額	2,370,000円
収支差引	0円

#### 収入内訳

科 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減	記 事
繰越金	438,396	487,182	△ 48,786	
助成金	200,000	189,715	10,285	日赤還付金・赤い羽根事務費
一般助成金	500,000	457,991	42,009	市社協より活動費
歳末補助	114,150	114,150	0	各町内会より
敬老会補助	456,000	458,400	△ 2,400	市より補助1,200円×380人
敬老会負担	456,600	452,600	4,000	各町内会より200円×2,283世帯
寄附金	45,000	80,000	△ 35,000	
雑収入	159,854	164,535	△ 4,681	諸会議費、利子他
雑計	2,370,000	2,404,573	△ 34,573	

#### 支出内訳

科 目	本年度予算額	前年度決算額	増 減	記 事
事務費	40,000	27,576	12,424	感謝状、額縁、消耗品、コピー
会議費	200,000	184,750	15,250	総会、役員会費他
負担金	40,000	37,317	2,683	市社協他へ
一般助成金	150,000	140,000	10,000	民児協10万、老人クラブ4万
歳末敬老会	100,000	85,000	15,000	歳末見舞金他
敬老会	1,250,000	1,179,205	70,795	別途報告
研修費	300,000	210,515	89,485	福祉施設見学、研修会他
慶弔費	30,000	21,814	8,186	弔電他
予備費	213,231	0	213,231	
雑支出	46,769	80,000	△ 33,231	街頭募金謝礼他
雑計	2,370,000	1,966,177	403,823	

会を開き同年四月に発足しました。協議会は、町内会代表者、市政協力員ならびに婦人会、老人クラブ等の代表者、民生児童委員、保護司等社会福祉奉仕者および学識経験者等が代議員になっております。

事業は、社会福祉を目的とする事業の調査、総合的な企画、連絡調整、事業の助成および普及宣伝、共同募金、その他社会福祉事業による資金

金造成への協力などが主なものであります。

平成七年度の具体的な事業は、各種募金活動、敬老会の開催、一人暮らしの高令者への友愛訪問、福祉活動を高めるための研修会、講習会の開催、福祉施設の見学会、「福祉協力員」「保健推進員」制度発足のため「啓もう活動」「社福協だより」の発刊などとなっております。

開会式での可愛い小学生男女の選手宣誓、準備体操のお手本を示してくれた女子小学生、子供達も一緒に盛り上げてくれたなごやかな開会式でした。

競技が始まり、歓声や応援と、また笑い声と、秋空のもと若い人から高令の方々まで、地域の皆さんにスポーツを体いっぱい楽しんで頂きました。

今までの運動会では最高の参加者があり、大盛會裡に終えることができましたことを心より感謝申し上げます。(阿部 和男記)

**東地区コミュニティセンター運営委員会**

委員長 佐藤 栄二郎

東地区コミュニティセンターは、昭和五十五年四月、市で五番目に開館し以来十六年になりました。

センターの設置目的は、地区住民はもとより市民相互の交流、文化、レクリエーション活動等、自主的かつ創造的な活動の場としての便宜を借与するもので、自から「学習」「身体を鍛え」「趣味を身につけ」「仲間と集う」などの活動が自由に、誰でもが手軽に楽しめるスポーツや、趣味を通じて連帯感の高揚を図り、住みよい地域社会を形成することを

目的としております。

運営に当っては、市が行なう管理運営の他に、センターの円滑な運営を図るため、市の条例に基づいて、自主的に地区運営委員会を設置しております。委員には東地区、桜地区の町内会の代表者並に、両地区の町内会連合会の代表者をはじめ、市民憲章推進協議会、社会福祉協議会、交通安全協会支部、小学校PTAの代表者で組織しており、地域に住む人の知力、体力の増進と創造的活力ある地域構築、安らぎのある生活、明るいまちづくり運動を進める場とするを考慮しながら、運営しているところであります。

事業としては、六年度は創立十五周年記念行事を実施しましたが、委員会は市民に対する円滑な場の提供が重要な仕事ですので、七年度は地区諸団体、利用者団体の連絡調整、器械設備の充実、大掃除などを計画しております。

平成六年度の利用状況は、サークルが四〇団体で五七八名と、各種団体の利用者が四万四千四七二人で大勢を占めており、市内の十四センター中最も多く利用されています。

運営費は、各町内会から一世帯当たり二〇〇円約九万八千円、印刷(コピー)代、一枚五円約三〇万六千円、前年度繰越金その他で、総収入五万五千円、支出は、印刷原材料費一三万八千円、積立金五万五千円、記念行事費

**交通安全協会東通支部**

支部長 金澤 勇治

四万一千円その他で、総支出四万七千円となっております。

交通の秩序を確立し、交通事故防止に寄与すると共に、会員相互の親睦を図ることを目的に、平成元年九月より東通支部は発足しております。

交番(旧警察官派出所)の管轄区域との関係で、東小学区二十二町内会の内十四町内会と、中通小学区東通地区(通称野添地区)十三町内会の内十二町内会の地域に居住又は勤務している秋田地区交通安全協会の会員で、支部に所定の会費を納めた人を正会員とし、目的と事業に賛同して賛助会費を納めてくれた賛助会員をもって組織し、会員数四〇〇名で構成しております。

平成七年度の事業計画は、みんなの参加を求め、交通事故(特に死亡事故)防止を基本方針とし、重点目標は、①交通安全意識の高揚、②道路交通の整備促進、③支部組織体制の強化をあげて、具体的な実践項目を掲げております。

個人会費は五〇〇円で、また、地区協会より助成金があり、

係各町内会と東地区商工振興会より賛助金の協力があって、約八万五千元の収入額を、活動費主体の支出で予算を編成しております。

交通事故防止活動の中で、交通弱者と呼ばれる人の対策が重点であることから、①児童、生徒の街頭誘導や交通安全教室の開催、②敬老会等で高令者の交通安全を呼びかけたり、③七〇才以上で独り暮らしの方々の家庭を訪問しての、夜間外出の指導等高令者の輪禍の防止に努めており、命の尊さ、大切さの認識については、「社福協」と密接な関係にあります。

平成七年度役員

- |          |        |
|----------|--------|
| 会 長      | 金澤 勇治  |
| 副 会 長    | 戸澤 孝正  |
| “ “      | 中村 順三  |
| “ “      | 磯崎 正則  |
| 理事 事務局 長 | 塚田 弘道  |
| 理 事      | 進藤 重男  |
| “ “      | 今野 鉄二郎 |
| “ “      | 塩寺 正夫  |
| “ “      | 嵯峨 久昭  |
| “ “      | 石郷 岡賢一 |
| “ “      | 田口 久雄  |
| “ “      | 小林 政見他 |
| “ “      | 二二名    |
| 理事 監 事   | 坂本 光男  |
| “ “      | 細井 俊己  |
| “ “      | 中野 喜市  |

**◆平成七年度役員構成◆**

- |          |            |
|----------|------------|
| 会 長      | 御代 鐵三郎     |
| 副 会 長    | 桜田 育三      |
| “ “      | 齊藤 武之      |
| “ “      | 川辺 多一郎     |
| “ “      | 桜井 藤 市     |
| “ “      | 畠山 精子      |
| 理 事      | 各町内会長 一八名  |
| 理 事      | 民生児童委員 一二名 |
| 理事 会計 担当 | 八柳 松雄      |
| 理事 事務局 長 | 藤川 長 勘     |

**東地区民生児童委員協議会の概要**

東地区民生児童委員協議会(以下「民児協」という)は、毎月一回の定例会を開催し、問題の協議、知識技能の向上を図っている。

民生児童委員の法的に定められている職務は、

一、常に社会調査を行ない地域の実情、生活状態等を把握することに努める。

一、社会福祉事業施設と密接に連絡し、その機能を助ける。

一、保護を要する者を適切に指導する。

一、福祉事務所その他関係行政機関の業務に協力する。

一、児童の健全育成の為の地域活動

一、必要に応じて生活の指導を行なう。

以上の骨子で民児協は活動し、必要なものは意見を具申ししている。

具体的活動としては、低所得者世帯や児童の相談、援助をはじめ生活福祉資金の借受、寝たきり老人の介護、一人暮らし老人、身心障害の問題や困り事の相談、指導、母子父子家庭に対する相談援助等、これらに対する調査報告など、地域住民の立場で協力し、積極的な活動を行なっております。

地域福祉の主体は、社福協であります。民生児童委員は理事という立場で参加し、地域社会福祉の向上に協力しております。日本赤十字社の社員増強運動、赤い羽根共同募金等の募金活動、敬老会、その他社会福祉協議会の事業の推進力として活動しております。

民児協も目的は「社会福祉」であり、今後も社会福祉協議会と共に努力してまいりますので、地域の皆様方のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

**◆東地区民生児童委員◆**

- |        |          |
|--------|----------|
| 小原 照子  | ☎三三二七〇六一 |
| 手形字十七流 | 一三五一     |
| 川辺 俱康  | ☎三三一五九九七 |
| 広面字広面  | 一七三一一三   |

- |             |          |     |
|-------------|----------|-----|
| ○金沢 敬子      | ☎三三一五二二五 |     |
| 東通三丁目九一三〇   |          |     |
| ●桜井 藤市      | ☎三三四二八五〇 |     |
| 東通一丁目一五一六   |          |     |
| ◎佐藤 敏夫      | ☎三四一〇四六  |     |
| 手形字中谷地六八一二  |          |     |
| ◎斎藤 サヨ      | ☎三二一三四四一 |     |
| 広面字板橋添六〇一二  |          |     |
| 鈴木 友子       | ☎三四一〇七七三 |     |
| 東通五丁目二一八    |          |     |
| ◎畠山 精子      | ☎三四一〇四六三 |     |
| 手形字西谷地九七一四  |          |     |
| 藤沢 フヨ       | ☎三四一三八三三 |     |
| 広面字二ツ屋七二一一  |          |     |
| 平良木栄治       | ☎三二一七五二八 |     |
| 手形字十七流三一一二  |          |     |
| 平野井和子       | ☎三二一八七一〇 |     |
| 広面字広面一〇四一三  |          |     |
| 堀川 孝子       | ☎三四一〇四三二 |     |
| 手形字西谷地一八四一二 |          |     |
| 谷田部 秀       | ☎三四一〇二二九 |     |
| 東通一丁目九一三六   |          |     |
| 八柳 松雄       | ☎三五一三九六一 |     |
| 手形字西谷地四九一二  |          |     |
| 淀川栄之助       | ☎三二一九九三二 |     |
| 広面字屋敷田二三一六  |          |     |
| (◎)総務       | ◎副総務     | ○主任 |
| 児童委員        | ◎(婦人部代表) |     |

**三年目の施設見学**

城東中学校 JRC委員会 委員長 伊藤 加奈子

今回の、七月十九日に行なわれた施設訪問。これは三年間JRC委員をやってきた私にとって、最後の施設訪問となりました。

桜の園の皆さんは、今年も温かく迎えてくださいました。今回と同じようにホールで行なった去年の訪問では、お話になかなか入れない人が多かったのが不安だったのですが、今年は皆積極的に話しかけたり、お茶をくんだりしていたので、私も周りを心配することなく、お話やお手伝いに参加できました。

そして、その後の舞台発表では、合唱部や吹奏楽部の曲に合わせて、桜の園の皆さんが歌ってくださる場面もあり、「本当に桜の園を訪問して良かった」と改めて感じました。今回のあの歌声は、三年間の中で一番の思い出になると思います。

今まで何回も訪問してきて、何よりもうれしかったのは、皆さんの温かい心が変わらなかつた事です。私等も、その温かい心をあたり前に出せるような人を目指していきたいと思ひます。

# 関係団体のあらまし紹介

## 東地区町内会連合会

会長 島山 圓吉

### 一、沿革(目的)

本会は二十二町内会との協力連携と意見の調整を図り、地区内における環境の整備改善、市民福祉の向上と、地区市民が親睦・融和を増進することを目的として発足した。(昭和五十三年三月二十五日)

### 二、平成七年度事業の主要項目

平成七年度事業計画を列挙すると(1)、市役所支所の設置促進、(2)、秋田駅の橋上化早期着工、完成、(3)、横山・金足線ならびに秋田駅東中央線の促進、(4)、生活環境整備促進(区画整理事業、下水道事業、生活道路の舗装等)(5)、その他、◇ふれあいイベント「踊りの祭典」の開催、◇地域保健衛生生活の推進、◇自主防災組織の結成等。

(注) 平成六年度対話集会(十一月十八日開催)の回答は同年十一月二十四日付連合会長名で送付済。  
三、平成七年度役員構成  
会 長 島山 圓吉

顧問 佐藤栄二郎

副会長 戸井田勇一

理事 八柳 松雄

理事 豊嶋美津秋

理事 青木 信義

理事 戸澤 孝正

理事 金澤 勇治

理事 御代鐵三郎

理事 小林 安雄

理事 齊藤 武之

理事 大塚三代治

理事 青木 信義

理事 局次長 小林 安雄

## 「ふれあいイベント」 踊りの祭典を終わって

「短かい東北の夏」そのフィナーレを飾る東地区「ふれあいイベント」は、隣接町内会の皆さんも含め約六〇〇名、郷愁をよぶ「かき水」「金魚すくい」などの出店、夜空を彩る大輪の花火、そしてダイナミックで華麗な竿灯の演技、三〇〇名を数えた盆踊りのうねりと、快よい太鼓のバチさばきでクライマックスに達する、まさに「美の祭典」ならではのバラエティに富んだ趣向に人びとは酔いしれ、ミ平への期待を更に大に



したことになる。  
ご来賓、踊り手、観客が一つになつて燃えたこのイベントの趣旨である「ふれあい」よっての東地区住民の連帯と協調意識の高揚」が図られたすばらしい見事な成果と高く評価して良いのではなからうか。  
炎暑のもと、会場設営その他、裏方としてご苦労をおかけした実行委員の方がた、成功を祈つてご協賛いただいた商工振興会・地域商店様はじめ町内会の皆様に心から感謝の意を表するものである。  
「きらめく北の人間都市あきた」をめざし模索する県都秋田の最大拠点である、わが東地区のより一層の充実と発展を図るシンボルとして、このイベントを継続していきたいものである。(八柳 松雄記)

## 東地区市民憲章推進協議会

会長 青木 信義

秋田市民憲章は、昭和三十六年六月二十五日自分たちが住んでいる、「まち」をより良くしたいという素朴で素直な願いから、市民の手によって生みだされ、早や三十五年を迎えようとしております。

「しあわせな秋田をきずくために」を合言葉に、一歩一歩前進し、実践の輪も大きく広がり、市民生活と市民意識の中に浸透しつつあります。この度の阪神淡路大震災をみても、日頃から近隣に住む者同志が、心を通わせ合っておくことが如何に大切かを痛切に感じられました。

市民憲章は、前文と五項目で構成され、簡単に平易な文章になっておりますが、私たちが一生をかけて推進する大きなテーマであります。前文には「私たちは伸びゆく秋田市の市民であることに誇をもち、明るく豊かなまちをつくるために、進んでこの憲章を守りましょう」とうたっております。

五項目には、どれもあたりまえのことではありますが、市民として実行すべき多くの希望が述べられております。

また、活動を具体的に推進するために昭和三十九年十一月一日に四専

## 東地区大運動会盛況に終る

心配された天気も、実行役員一同の願いが天に通じたのか絶好のスポーツ日和になり、体育協会最大のイベントである大運動会が、全市一斉スポーツ大会の九月十日に、大勢の地域住民参加のもと開催されました。今年の東地区大運動会のキャッチフレーズは、「みんなでスポーツいい笑顔」であり、老若男女地域住民が一人でも多く参加し楽しんで頂くよう、役員一同全力で取り組んでいこうと誓いあいました。  
そのせいか早朝から例年になく各町内会の人達の出足がよく、テントを張るなど準備おこたりにく、この運動会を町内あげて楽しもうという感じが肌に伝わってきました。



## 東地区体育協会

会長 戸澤 孝正

このたび、東地区「社福協だより」の発刊に当り、東地区体育協会を代表して、心から敬意を表すると共に、今後益々「社福協だより」のご発展

門部会を設け、主要な活動項目を定めて実施しております。  
事業予算は、町内会規模により、五段階の維持会費を負担して頂き、平成七年度の収入予算総額は、十八万円余で、支出は活動費十五万円余を主体として計画しております。  
平成七年度役員

- 会 長 青木 信義
- 副会長 齊藤 武之
- 理 事 高川五郎作
- “ 島山 圓吉
- “ 戸澤 孝正
- “ 金澤 勇治
- “ 御代鐵三郎
- “ 嵯峨 誠
- “ 佐藤 誠三(交通委副会長)
- “ 佐々木 忠二(青少年部副会長)
- “ 会田 寛二(環境保健部副会長)
- “ 豊嶋美津秋(教養文化部副会長)
- 理事 泉 芳雄
- “ 柳原 宏一
- “ 事務局 湯澤 幸蔵

を心からお喜び申し上げます。  
それでは、東地区体育協会の「あゆみ」について簡記させて頂きます。  
昭和五十二年四月に東小学校が開校になり、同年九月に横森及び桜地区を含め、東地区体育協会として発足しました。六月後の昭和五十八年五月桜小学校の開校により横森、桜地区は、桜地区体育協会として独立、新たに発足したのであります。

従って東地区体育協会は二十三町内会、凡そ一万名の地区住民を擁し、社会体育の普及振興をおし住民の健康増進、並びに親睦融和を図りながら、次の事業を行なっております。  
一、ゲートボール大会、二、ゴルフ大会、三、大運動会、四、ソフトボール大会、五、バレーボール大会、六、バトミントン大会の六部門に、多数の地域住民の方々のご参加を頂き盛大に行なっております。  
次に、予算関係について簡記しますと、東地区二十三町内会からの負担金及び市当局、市体育協会からの助成金で、大運動会を除いた五つの事業を行なっております。  
大運動会については、賞品等多額の予算が必要なため、協賛店を募りこの協賛金で賄っております。この予算合計額は約百五十万円が計上されております。

次に、東地区体育協会の組織について申し上げますと、体協の最高議決機関は、評議員会(二十三町内会

- 会長(各町内会長の推薦者計二十三名、体協会長の推薦者三名で構成)で、年間の事業は評議員会の議決を得て行なっております。
- 終りに臨み、輝かしい二十一世紀を展望しながら、東地区体育協会の目的とする地域住民の健康増進と、親睦融和の濃密化を図りながら、なお一層の研鑽努力をしてまいりたいと思っておりますので、皆様方の心暖かいご指導とご支援を切にお願い申し上げます。
- 平成七年度役員
- 会 長 戸澤 孝正
- 顧問 島山 圓吉
- 副会長 青木 信義
- “ 泉 芳雄
- “ 嵯峨 誠
- “ 折原 和子
- “ 川辺多一郎
- “ 渡辺 俊蔵
- “ 会田 寛二
- “ 藤本 忠
- “ 松本 精一
- “ 大滝 康弘
- “ 阿部 和男
- “ 坂本 光男
- “ 黒崎 廣子
- “ 菅川 幸蔵
- “ 藤本 忠
- “ 高橋キエ子
- “ 田安 義昭
- “ 奥田 忠勝
- “ 監 事 川辺多一郎
- “ 理事 渡辺 俊蔵
- “ 副理事 会田 寛二
- “ 松本 精一
- “ 大滝 康弘
- “ 阿部 和男
- “ 坂本 光男
- “ 黒崎 廣子
- “ 菅川 幸蔵
- “ 藤本 忠
- “ 高橋キエ子
- “ 田安 義昭
- “ 奥田 忠勝
- “ 事務局 坂本 光男
- “ 総務委員 黒崎 廣子
- “ ゲートボール専門部長 菅川 幸蔵
- “ ソフトボール “ 藤本 忠
- “ バレーボール “ 高橋キエ子
- “ バトミントン “ 田安 義昭
- “ グランドゴルフ “ 奥田 忠勝